

イワタと教科書体

1. 教科書体を取り巻く状況

教科書の文字がどのように変化してきたかを時系列順に列挙しました。

- 明治のはじめの頃、日常的に毛筆が使用されていた
- 明治時代末から大正時代にかけて、ペンや万年筆が流行。学校では鉛筆が用いられており毛筆はすでに使用が限られていた。
- 昭和 10 年(1935)発行の文部省国定教科書「小学国語読本（尋常小学読本）巻五」に楷書体の活字に毛筆のひらがなが使用された。このころの字体に関して指針を示したものを文部省活字といい、のちに教科書用専用活字、教楷書などと称した
- 昭和 24 年(1949)に当用漢字字体表で日本の漢字字体が統一された
- 昭和 27 年(1952)に文部省が文部省刊行物制作便覧に書体見本として「教科書楷書体」という名称を使用
- 戦後は文部省検定による民間教科書会社の発行となった（戦前の教科書は国定だったため教科書の書体は文部省活字一種類）。また当用漢字字体表の制約と合わせて教科書会社、書体メーカーとしては独自の教科書体を作る必要が出てきた。
- 昭和 30 年(1955)、イワタ（当時は岩田母型製造所）から教科書用の書体が登場
- 昭和 33 年(1958)に文部省がはじめて「教科書体」の名称を使用
- 昭和 33 年(1958)に小学校学習指導要領が初めて告示。その中の学年別漢字配当表によって 881 文字を各学年に配分し学年によって学ぶ漢字が定められた。
- 昭和 52 年(1977)に文部省が小学校学習指導要領で教科書の字体標準 996 文字を定めた。その後、平成元年(1989)には 1006 文字になった。
- 令和 2 年(2020)に都道府県名に使われる 20 文字が追加され 1026 文字になる。(平成 29 年 3 月 31 日に次期学習指導要領が公示。4,5,6 年の学習漢字が増える)

2. イワタの教科書体

イワタの教科書体の歴史を見本帳と原図から追ってみました。

- (1) 1955 年（昭和 30 年）の活字見本帳に「教科書用かな」と「教育漢字」が登場。書体名は無し。このころにイワタ(岩田)教科書体の原型が作られた。（戦後、教科書が国定から検定方式に変わったことにより各社で教科書体の開発が進められた）

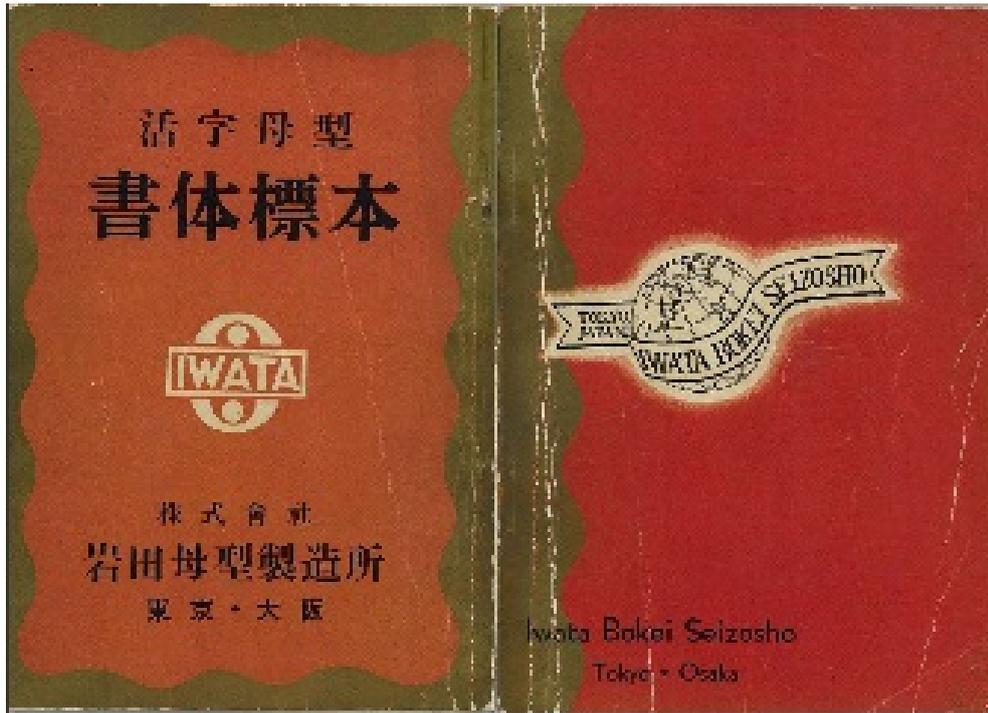


図 1. 1955 年の活字
見本帳の表紙

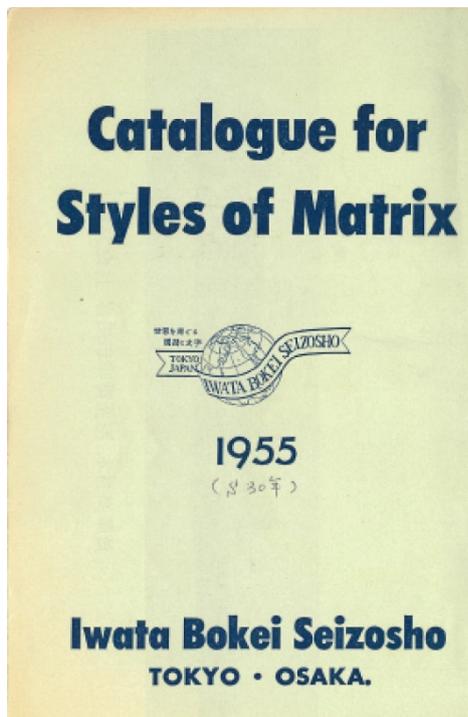


図 2. 1955 年の活字見本帳のとびら

(2) 1959年(昭和34年)の活字見本帳に「教楷書」が登場。一号から六号、および12ptと6pt。1955年のものとはデザインが異なる。教楷書は楷書系の名人・大間善次郎が種字を彫り電胎母型で母型を製造。



図 5.1959年の活字見本帳の表紙

(3) 現在のイワタ教科書体

昭和34年の9pt電胎母型の教楷書をもとにベントンで製作。1966年(昭和41年)、文部省通達の書体に倣い教科書体原字を作成(当用漢字1850字)し、文部省OBの江守賢治氏に監修依頼した。これが現在残っているイワタ教科書体。

1979年(昭和54年)の活字見本帳には「教楷書」と「教科書体」の2つが掲載されておりしばらくのあいだ並売していた。

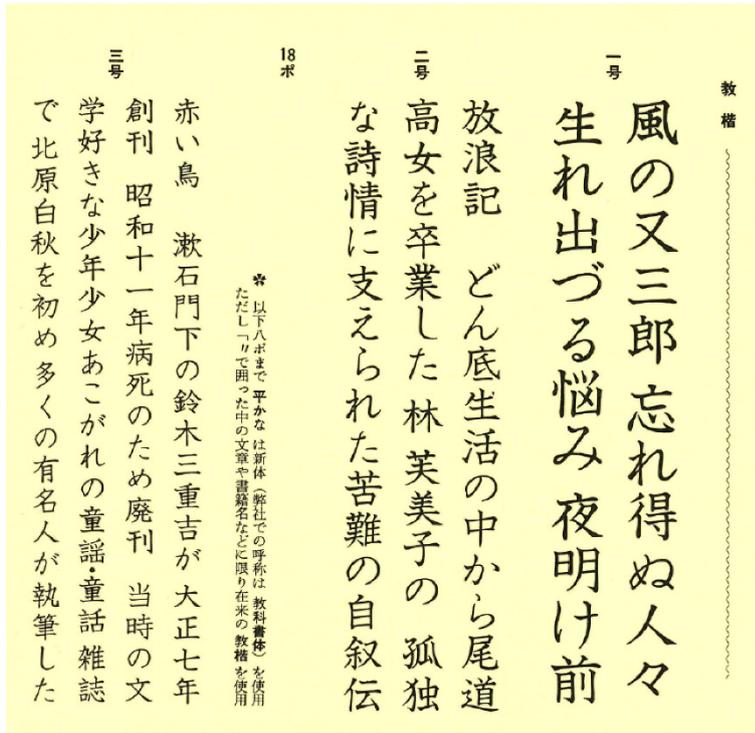


図8.1959年の活字見本帳より「教楷書」と「教科書体」(一号と二号が教楷書、三号が教科書体)

図9.1959年の活字見本帳より「教楷書」と「教科書体」(四号から8ポまでが教科書体、6ポが教楷書)

紫式部 父藤原為時は有名な漢学者で、曾祖父・祖父・兄いづれも歌人という文学一家である。幼少より学問に優れ、「これが男なりせば」と父親が惜しんだと言う。名著源氏物語のほか、紫式部日記がある

四号
清少納言 著名な歌人清原深養父の曾孫にあたる。枕草子は優美な天然自然の現象や四季の趣きなどを取り上げて、あわれなるもの…美しきもの…などの表現で、観察・感想・日記・紀行の類とし、平安朝的な美を高度に紹介している。

12ポ
良寛 越後国出雲崎の生れ。自から大愚と称し、徹底した無欲で、米をたくも顔を洗うも、鉄鉢一個という簡易生活に終始した。歌は万葉調で、素朴淡泊 素直な歌風は童心を保ちつつ、しかも氣品に富む。書も巧みな詩文に加え、独特な風格があり、逸品とされている。

五号
樋口一葉 少女の頃より歌道を学び、貧困に苦しみながら、処女作「闇桜」を発表し、次で「うもれ木」により名声を得た。その三年後の明治廿八年、一年にわたり「たけくらべ」を雑誌文学界に連載し、森外より「この作者にまことの詩人の名を贈ることを惜しまない」と激賞を受け、世の絶賛を浴びたが、この翌年わずか二十五歳で病死した。他に十三夜 など数々の短編佳作がある。

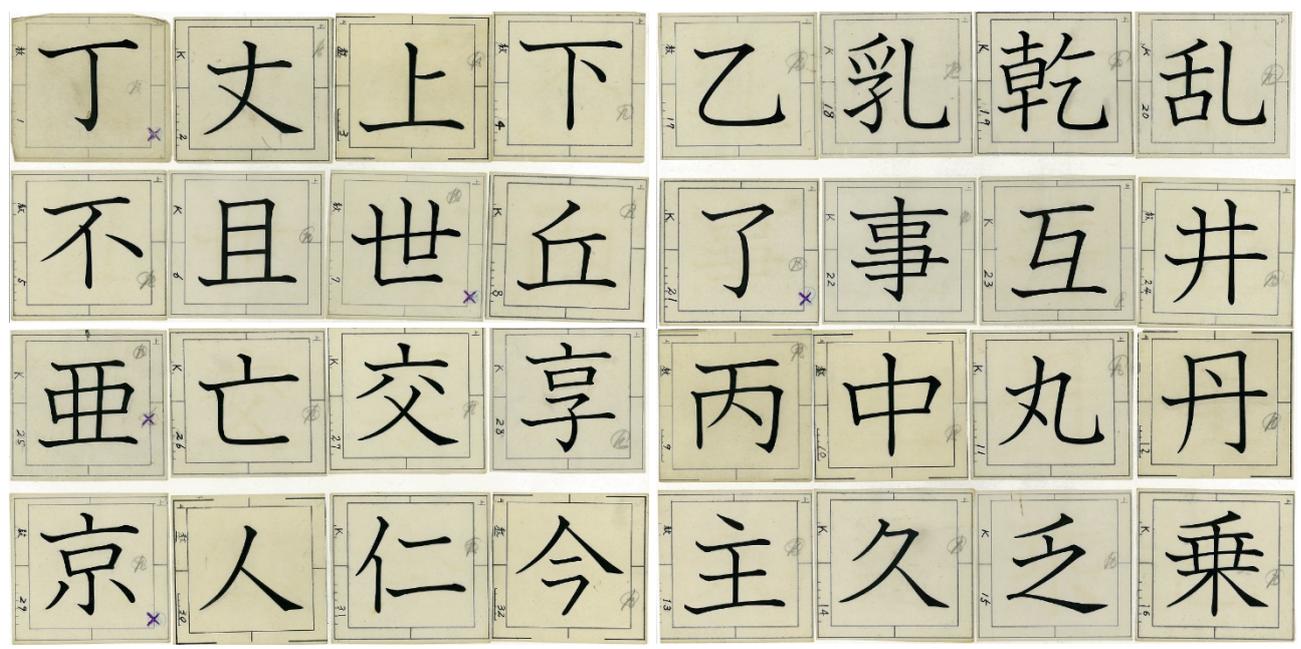
9ポ
島崎藤村 明治五年、昭和十八年、長野県に生れ、詩人・小説家。仙台の東北学院の教師をしていた明治卅年に、処女詩集「若葉集」を発表し、一躍詩人としての名声を得たが、二年後に長野県の小諸義塾に赴任してから、散文にうつり、小諸周辺の風物に取材した「千曲川のスケッチ」などの小品を出し、三十九年作の長篇小説「破戒」によって、自然主義的学者としての地位を確立した。昭和初期の作に、野心大作「夜明け前」がある。

8ポ
石川啄木 明治十八年、四十五年、岩手県に生れ、盛岡 生活激貧人として一流の地位を確立した。しかるに、中学在学中に、五湖野祭の詩を詠んで感動し、字家を やめて上京したが、病のため難病している。十九歳の時に、「詩集『あこがれ』」を出した。その後一時、小説家を目指したこともあったが、四十二年「運命の砂」を発表し

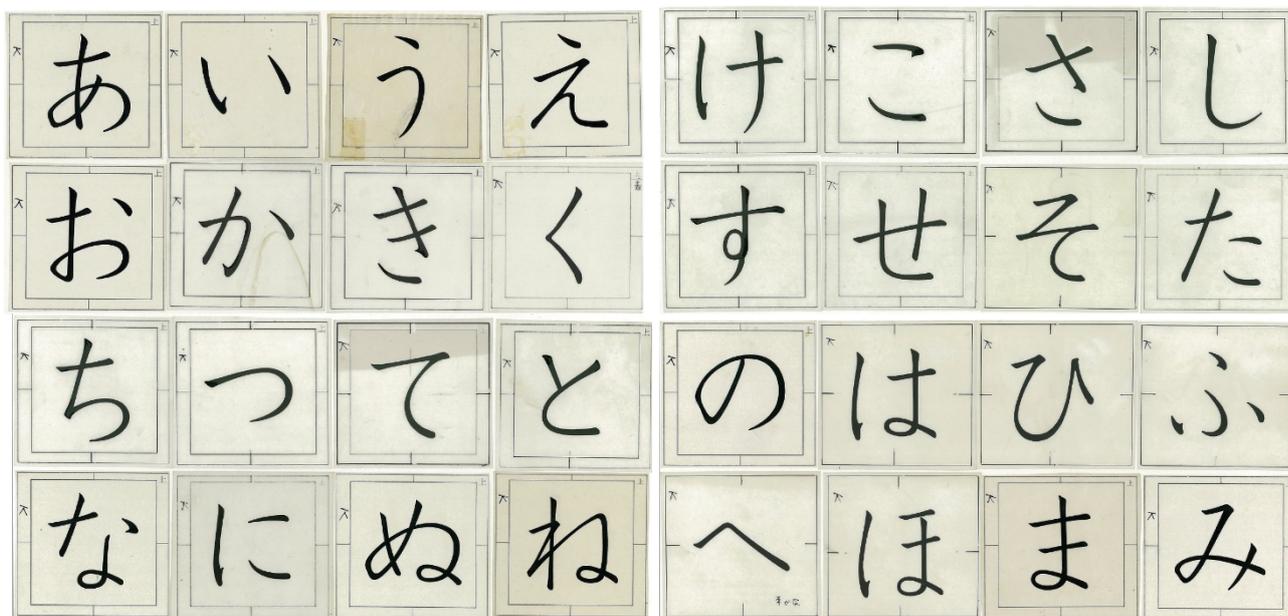
6ポ

(4) 現在残っているイワタ教科書体原図

(a) 漢字



(b) 仮名 (硬筆)



(c) 仮名 (軟筆) : 市販化されていない



(5) 現在のイワタ教科書体 [デジタルフォント]

(a) 漢字

丁 丈 上 下 乙 乳 乾 乱
不 且 世 丘 了 事 互 井
亜 亡 交 亨 丙 中 丸 丹
京 人 仁 今 主 久 乏 乘

(b) 仮名

あ　い　う　え　け　こ　さ　し
お　か　き　く　す　せ　そ　た
ち　つ　て　と　の　は　ひ　ふ
な　に　ぬ　ね　へ　ほ　ま　み

(6) イワタ教科書体の原図提供、書体ライセンス先

1965年（昭和40年）モリサワ（教科書ICA）

1978年（昭和53年）写研

1982年（昭和57年）日本電気漢字システム（FA教科書体）

1986年（昭和61年）富士通（FC教科書体）

その他、リョービマジクス、キヤノン販売（FG教科書体）

・教科書会社

三省堂（特注書体）、日本標準など

・学参出版社

公文研究会、ベネッセ、学研、新学社、青葉図書、学校図書、光村教育図書、日本標準、明治図書、好学出版、日本コスモトピアなど

・新聞社

京都新聞社、西日本新聞社、下野新聞社、神奈川新聞社、山梨日日新聞社、宮崎日日新聞社、聖教新聞社など

3. 新教科書体の登場

(1) 開発の背景

イワタが教科書体を世に出してから半世紀以上。従来の教科書体はほとんど印刷用書体として用いられてきました。今後もこれらの書体が重宝される一方で、電子デバイス/ICT向けの書体の需要が増えており、なかでも教科書はじめ学習参考書のデジタル化が急速に高まりつつあります。このような背景を踏まえ、新しい教科書体を制作しました。

(2) 目的

①現代の書きぶりに則した学習参考書、教科書用書体

ー デジタル参考書、デジタル教科書体に対応（電子デバイスでの読みやすさを考慮）

- 縦組みと横組みに対応（横組み用仮名を用意）
- 従来より硬筆を意識し現代の書きぶりに則した書風とする
- 欧文は従来教科書体のデザインを踏襲する（丸ゴシック）

(3) 使用媒体

- 電子媒体および紙媒体

(4) デザイン仕様

- 同じサイズでも大きく見える
UD（ユニバーサルデザイン）の知見をいかし、フトコロを広めにとった現代風デザイン
- 筆順がわかりやすくなるよう画線の構成を工夫
- 現代的な手書きの字形
 - やさしい右上がり
 - おおきなループ
 - 硬筆に近い起筆

(6) デザイン

(a) 漢字

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 丁 | 丈 | 上 | 下 | 乙 | 乳 | 乾 | 乱 |
| 不 | 且 | 世 | 丘 | 了 | 事 | 互 | 井 |
| 亜 | 亡 | 交 | 亨 | 丙 | 中 | 丸 | 丹 |
| 京 | 人 | 仁 | 今 | 主 | 久 | 乏 | 乘 |

(b) 仮名

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | け | こ | さ | し |
| お | か | き | く | す | せ | そ | た |
| ち | つ | て | と | の | は | ひ | ふ |
| な | に | ぬ | ね | へ | ほ | ま | み |

(c) 仮名 (横用)

あ い う え け こ さ し
お か き く す せ そ た
ち つ て と の は ひ ふ
な に ぬ ね へ ほ ま み

(7) デザインの特徴

1 同じサイズでも大きく見える

近年、電子デバイスの普及により、教育現場において、教科書をはじめ学習参考書のデジタル化が急速に高まりつつあります。このような背景を踏まえ、紙媒体への印刷はもちろん、デジタル教科書、デジタル参考書をさらに読みやすくする書体をつくりました。

イワタ新教科書体 16Q

近年、電子デバイスの普及により、教育現場において、教科書をはじめ学習参考書のデジタル化が急速に高まりつつあります。このような背景を踏まえ、紙媒体への印刷はもちろん、デジタル教科書、デジタル参考書をさらに読みやすくする書体をつくりました。

従来版 教科書体 16Q

2 筆順がわかりやすい

先 後 →
↓
成 反

イワタ新教科書体

? →
↓
成 反

従来版 教科書体



3 現代的な手書きの字形

●おおきなループ ●やさしい右上がり ●硬筆に近い起筆

なねの なねの
羽蚕馬 羽蚕馬

イワタ新教科書体

従来版 教科書体

※本資料に掲載している文章および図版の無断転載、無断使用は禁止します。